

## 閉塞性大腸癌に対する大腸ステントの短期・長期成績の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

### 研究の目的と方法

日本では2012年より大腸ステントが保険承認され、閉塞性大腸癌に対して緊急手術を回避する Bridge to Surgery（術前狭窄解除）が急速に普及しています。SEMS 留置後に緊急ではなく待期的手術を行うことによる合併症増加などもなく、短期成績では有用性が示されてきていますが、術後生存成績、再発成績など長期成績に関する報告は十分でないのが現状です。この研究は、当院の閉塞性大腸癌に対する大腸ステントの短期・長期成績の検討を目的として実施します。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

### 研究の対象となる方

2018年1月～2023年12月に当院で大腸癌に対する手術治療を受けられた方

### 使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症から治療開始までの期間、手術の有無など

使用開始予定日：2024年10月29日

### 研究予定期間

2024年10月29日～2025年3月31日

### 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 外科 有馬浩太

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

### 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

#### 問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 有馬浩太

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)